Tohoku Regional Administrative Evaluation Bureau , MIC

東北管区行政評価局

総務省

行政相談マスコット
「キクーン」

東北管区行政評価局は、総務省の地方出先機関として、当局（仙台市）のほか、青森市、盛岡市、秋田市、山形市及び福島市に現地拠点となる行政監視行政相談センターを設置し、東北6県を管轄しています。

当局では、**「行政運営改善調査」**と**「行政相談」**の2つの業務を通じて**国民の困りごとや行政上の課題を明らかにし、関係府省に対して改善方策等を働きかける**ことで、**より良い行政の実現**を目指しています。

行政運営改善調査

政策の担当府省とは異なる立場から、実地に調査し、各府省の政策の効果や業務運営の課題を実証的に把握・分析した上で、行政運営の改善方策を提示します。

行政相談

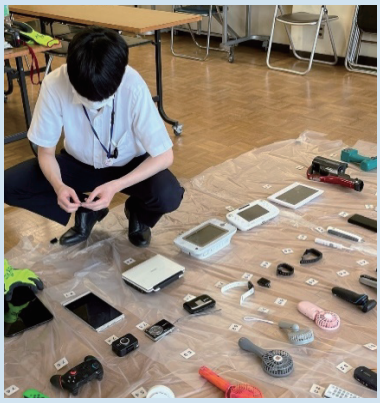
国の行政に関する苦情や意見・要望等を幅広く受け付け、担当行政機関とは異なる立場からその解決や実現を促進するとともに、行政の制度及び運営の改善にいかします。

⇒いずれも、**国の行政機関の業務全般を対象**とし、**扱う行政分野が広範**となるのが当局ならではの特徴です！

Voice

～先輩からのメッセージ～

これまでどんな業務を担当してきましたか？



実地調査での様子

私は現在、行政運営改善調査業務を担当しています。調査業務における私たちの使命は、関係機関へのヒアリングを通じて、現場における業務の実態や意見などを聴取し、業務運営上の課題を明らかにし、行政機関に対し改善方策を提示していくことだと考えています。

特に印象に残っているのは、不燃ごみ等にリチウムイオン電池がどれほど混入しているか実態を調査したことです。実際に混入しているリチウムイオン電池使用製品の数、種類、状態などを一つ一つ実地で調べるという、一風変わった調査に携わりました。

幅広い行政分野について調査できるという当局業務の特徴、魅力を日々実感しています。

この仕事のやりがいは何ですか？

私は現在、行政相談委員の支援と行政相談制度の広報活動に関する業務を行っています。

行政相談委員は、総務大臣から委嘱され、ボランティアとして国民からの相談を受け付けています。当局が企画した研修会などで、行政相談委員が生き生きと活動する姿を見て、私も行政相談の魅力をより多くの方に伝えていきたいと思いました。

また、行政相談制度の広報活動として、行政相談パネル展やラジオ番組への出演などを行っています。令和6年9月には、宮古駅で、三陸鉄道のキャラクター「さんてつくん」と行政相談マスコット「キクーン」がコラボして行政相談をPRするイベントに参加し、駅を利用する方に対して直接PRすることができ、やりがいを感じました。

ラジオ番組で広報活動中の様子

もっと詳しく知りたい方はこちらへ！

当局の業務や先輩職員のメッセージが気になった方は、ぜひ当局HPもご覧ください！

おまちしています

※ 送付の際は、★を@に置き換えてください。

＜問合せ先＞ 東北管区行政評価局 採用担当（TEL：022-262-7831、MAIL：thk-saiyo★soumu.go.jp）

HPは
こちら→